

令和3年9月1日

感染予防対策として積極的なワクチン接種を！

富山大学長 齋藤 滋

学生の皆さん

日程が定まらず、ご心配をおかけしましたが、新型コロナワクチンの大学拠点接種(職域接種)を9月1日から開始しました。本学の学生・教職員に加えて、富山市教育委員会や近隣の大学を含め、現段階では約7,500人の接種を予定しています。学生の皆さんからは全体数の約6割程度の接種希望があり、先日、接種希望者に接種日時をお知らせしたところです。

全国では、2回目のワクチン接種を完了した人の割合は46.2%になり、65歳以上の高齢者では86.8%に達しました(9月1日 首相官邸公表)。2回のワクチン接種による発症や重症化の予防効果は明らかで、最近では65歳以上の感染者は全体の数%に減っており、また重症者の数も増えていません。高齢者に対するワクチン接種が感染及び感染後の重症化を共に抑えているものと考えられています。現在、新たな感染者として最も多いのは20歳代の方で、19歳以下の方がそれに続きます(※日本感染症学会、日本環境感染学会)。

新型コロナウイルス感染症への感染や感染による重症化の予防、また感染拡大を防ぐためには、一人でも多くの国民がワクチンを接種することが必要です。中には体質や基礎疾患のためにどうしてもワクチンを接種できない人もいます。

人口の一定割合以上の人が免疫を持つと、感染者が出てても他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。この状態を「集団免疫」と言い、これにより、社会全体が感染症から守られることとなります。

今回の職域接種において接種枠に余裕が出たことから、予備日である9月22日(水)と9月25日(土)[第2回目は10月20日(水)と10月23日(土)]を接種予定日として再募集を予定しています。ワクチンを接種するか否かは個人の自由ですが、集団免疫の観点からも、接種を希望していない学生におかれては改めて接種を検討いただけるようお願いいたします。なお、ワクチン接種で副反応が出た場合は公休扱いとなりますので、併せて考慮ください。

最後に、最近の報道では2回のワクチン接種後でも感染した事例が報告されています。既に接種が済んでいる、また今回の職域接種を予定している学生の皆さんには、接種後においても、引き続き、不要不急の外出を控え、これまで以上に自身や周りの人たちへの感染リスクが高まる行動を慎んでいただきますよう、よろしくお願いします。

学生・教職員の一人一人が感染予防対策を講じることにより、対面授業を安全に再開でき、日常の学生生活に近づくことができるものと期待します。引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※https://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_tameni_210806.pdf